

## コンパクト集合と閉集合の距離と共通部分について

### 1

記号 1.1.  $(X, d)$  を距離空間とする.  $A, B \subset X$  に対して,

$$d(A, B) := \inf\{d(a, b) \mid a \in A, b \in B\}, \quad d(A, a) := \inf\{d(a, b) \mid b \in A\}$$

という記号を用いる.

命題 1.2.  $(X, d)$  を距離空間とする.  $A \subset X$  をコンパクト集合,  $B \subset X$  を閉集合とする.

$$d(A, B) > 0 \iff A \cap B = \emptyset$$

が成り立つ.

証明.  $\Rightarrow$ .  $A \cap B \neq \emptyset$  と仮定する (背理法).  $c \in A \cap B$  ととると,  $d(A, B) \leq d(c, c) = 0$  となるので矛盾する.  
 $\Leftarrow$ . 任意の  $a, a' \in A$  に対して,

$$d(B, a) = \inf\{d(b, a) \mid b \in B\} \leq \inf\{d(b, a) + d(a, a') \mid b \in B\}$$

が成り立つので,

$$|d(B, a) - d(B, a')| \leq d(a, a')$$

$d(B, \cdot)$  は  $A$  上の連続関数である.  $A$  はコンパクト集合であるので,  $d(B, \cdot)$  の最小値を実現する点  $a \in A$  がとれる.

$$d(B, a) = 0$$

であるので,  $a \in \overline{B}$  である.  $B$  が閉集合であることから  $\overline{B} = B$  であるので,  $a \in B$  である. 従って  $A \cap B \neq \emptyset$  が成り立つ.  $\square$

注意 1.3.  $\tanh : \mathbb{R} \rightarrow \mathbb{R}$  は連続関数なので,  $A := \{(x, f(x)) \in \mathbb{R}^2 \mid x \in \mathbb{R}\}$  は  $(\mathbb{R}^2, d)$  の閉集合である. 閉集合  $B := \{(x, y) \in \mathbb{R}^2 \mid y = 1\}$  との共通部分を考えると,  $\tanh x < 1$  ( $x \in \mathbb{R}$ ) であるので,

$$A \cap B = \emptyset$$

である一方で,  $\lim_{x \rightarrow \infty} \tanh(x) = 1$  であるので,

$$d(A, B) = 0$$

が成り立つ.